

社会的孤立を防ぐ

「8050問題」「ダブルケア」「セルフネグレクト」「制度の狭間」

1990年代以降の経済低迷により、家族と雇用のあり方は激変。日本社会の変化がもたらした課題の一つである「社会的孤立」などの問題が浮上しています。

一言でいうならば、家族と雇用システムの変化によって、人と人との「つながり」という、社会の最も基盤となる部分が弱体化しているということです。

社会的孤立には様々な定義があるが、分かりやすく言えば、「人との接触が欠落し、社会的な活動に参加せず、困ったときに頼りにできる人がいない」ような状態です。

社会的孤立のリスクを抱えた人をつなぐ共生支援として重点的に取り組むべき政策課題は、次の三つです。

- ①孤立した人々をできる限り社会集団の中に「取り込む」こと。
- ②そうした人々を制度やサービス、さらには他の人と「つなぐ」こと。
- ③人々が自立していくことを支援し、生きる力を「強める」こと。

最も大切なことは、人々が互いに生きる存在として認め合い、助け合う「つながり」をしっかりと築くということです。そうした動きの先には、「地域共生社会」の実現があります。

ウォーキングサークル紹介

予約・登録不要です。活動日時に集合場所に行くと参加できます。

お気軽にご参加ください。



カタクリ

活動日時：第4火曜日 10時～11時
集合場所：しばたの郷土館前
コース：館山周辺



元気サークル

活動日時：第2月曜日 10時～11時
集合場所：槻木生涯学習センター
コース：槻木周辺

かっこいいオヤジたち！ (5回目)

推薦者：柴田町民生委員児童委員協議会

会長 木島基子(協議体委員)

76名のうち男性14名と少数ですが地域のみなさんのため、がんばっています。



12月1日付で、民生委員児童委員改選で町内76名の方が任命されました。



歩こう会

活動日時：第2火曜日 10時～11時
集合場所：船迫生涯学習センター
コース：さくら歩道橋